

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2022年9月第481号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

「白髪になってもなお実を結び」

主任司祭 千葉俊一

去る7月24日は祖父母と高齢者のための世界祈願日（第2回）でした。この祈願日は教皇様の意向で昨年からはまりましたが、日本では9月の第3月曜日が敬老の日となっていて教会もこれに合わせて高齢者のために祈るので、この2つをどのように両立させるか少々悩ましいところです。

今回のこの祈願日のための教皇フランシスコのメッセージには「白髪になってもなお実を結び」というなんとも素敵なタイトルが付けられています。これは詩編92の15節の言葉です。教皇メッセージの大事な部分を引用してみましょう。

現代社会を覆う使い捨て文化の中で高齢者は疎まれがちですが、「長寿は祝福であり、老人は疎まれる存在ではなく、いのちを豊かに与えてくださる神のいつくしみの生きたしるしです」。しかし「体力の衰えを実感したり、病気になったりすることで、自信が揺らぐこともあります。世の中の流れは速く、わたしたちは（千葉註：教皇様はご自分をも高齢者の中に入れておられます）それについていくのが大変ですが、ほかに手段がないように思い、自分たちは用なしなのだという考えを受け入れてしまいます。だから詩編の祈りはこう叫ぶのです。『老いの日にも見放さず、わたしに力が尽きても捨て去らないでください』（詩編71・9）」。60代前半のわたしも正直なところ肉体の衰えを様々な形で感じています。今できていることができなくなるのもそう遠いことではないでしょう。しかし「人生のあらゆる時期における主の存在を振り返るこの詩編は、期待する心をもち続けるようわたしたちを招きます。老いて白髪になっても、主はいのちを吹き込み続け、わたしたちが悪に打ち負かされることがないようにしてください。（中略）そうしてわたしたちは、年を取ることは、肉体の自然な衰えやどうにもならない時の経過であるだけでなく、長寿というたまものでもあると気づくでしょう。年を取ることは、呪いではなく祝福です」。

そして教皇様は高齢者の使命を強調されます。「前世紀に戦争を体験した世代がいなくなりつつある今、ヨーロッパで戦争が再び起きたことは偶然ではないでしょう」。「わたしたち祖父母や高齢者には大きな責任があります。自分の孫に注ぐ、理解ある優しいまなざしと同じまなざしで他者を見ることを、現代の人々に教える責務です」。「わたしたちが実らせるべき果実の一つは、世界の面倒を見ることです」。「親愛なる祖父母の皆さん、親愛なる高齢者の皆さん、今のこの世界においてわたしたちは、優しさ革命（千葉註：愛という非武装の霊的な革命）の担い手となるよう招かれています。わたしたちが手にしたもっとも尊い道具、私たちの年代にもっともふさわしい道具を、もっとたくさん、もっと上手に使うことを覚え、それを果たしていきましょう。その道具とは、祈りです」。

いつもわたしたちに勇気と元気を与えてくださる教皇様の言葉を、高齢者だけではなく
いずれその年代になる熟年層も若年層もかみしめて、この世界の福音化をめざして歩んで
いきましょう。

教会記録

帰天 エリザベット 金子 都さん 7月25日

渡辺恭子さん、渡辺五十鈴さん、小林華寿美さんご姉妹そして
ご主人の治男さんと共に富士吉田教会の礎を築いてくださいました。
長い年月にわたり教会へのご奉仕、誠にありがとうございました。



洗礼 ヘレナ 白井 夏美さん 8月14日

おめでとうございます！



1. 【敬老の日のお祝いについて】

9 月 18 日（日）去年、一昨年同様今年も実施。

8 月中に昭和 22 年生まれ以降の方に招待状（葉書）を送る。

2. 【新型コロナウイルス感染症対策におけるミサについて】（確認）

ミサ中止基準：山梨県等の緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置の発令がない限り実施。

3. 【営繕からの報告】（別項目参照）

4. 【管理・運営奉仕者養成研修受講終了の報告】

＊教会の組織は教区・地区・小教区・主任司祭・教会委員会・信徒大会等により出来る。

＊小教区においては、すべて司祭の承認によって決まる。

小教区の事務（法務・財務・管理・営繕・宣教司牧等から成る）

＊分かち合い（奉仕者として事務に携わる者の心構えなど）

＊研修の内容を何かの機会に、皆様にお伝えしていきたいと思います。

＊現在の「信徒のしおり」を検討して教会委員会規約を作りたい。

5. 【その他】

① 聖堂倉庫内の整理（清掃道具・花瓶・Xmas 関係の整理）

② コピー室の整理（香部屋・日曜学校・等の物品整理）

③ 一粒会委員を宮本さんが引き受けてくださいました（渡辺幹夫さんが体調不良の為）。よろしく願いいたします。10 月の一粒会大会は不参加。

④ ウクライナ支援コンサートのボランティア（日曜学校の子供など）のチケット代はどうなるか検討してほしい。

営繕委員会報

2022 年 8 月 7 日

7 月 19 日に開催した営繕委員会の報告を致します。

報告者 佐藤光良

7 月 19 日 AM9:30～ 主任司祭・教会委員長を含む営繕委員・山本教会副委員長立会

- 司祭・信徒会館築後 10 年点検を行う。（5 年ごとに 60 年間は無償点検）

セキスイハイム担当者：セキスイファミエス(株)山梨営業部

- 内外部とも異常無し。軒樋点検（佐藤）詰り無し。
- 2 階司祭室 UB 排水詰り 異常無し（佐藤修理済み）
- トイレロータンク（2 ヶ所）水洗用レバーハンドルは寒冷地用標準装備につき交換は自費工事
- 信徒用システムキッチンのシンク用混合栓の吐水口が不良（上記と共に設備業者に見積依頼）
- 館銘板下の汚れ、RC の通路壁経年変化の汚れ等除去を塗装工事で検討。
- 窓枠廻り、経年劣化による開閉不良及びキクイムシ被害の部位の交換を、ドアを直した大工に見積依頼。
- 24 時間換気用吸排気口の取付状況の確認とメンテの説明を受ける。
- 御御堂と信徒会館の間の通路のタイルが欠けている。補修するか今後の課題。
- 建物外壁サイディングの空気の流れが悪い箇所に青藻の発生。高圧洗浄を試してみる価値あり。（塗装工事？）
- 司祭室の換気ルーバーの交換 完了

- 次回は5年後に屋根を含めた点検を行う予定。(ソーラーパネルは5年後点検)
- 雨漏り・防水は20年間保証(外壁のシーリングは20年点検で打ち直し必要)
- 築後10年で防蟻処理の保証は期限切。延長の防蟻処理は10～12万円要す。(私見：鉄骨造なので不要と考える)
- 北西交差点のフェンス基礎欠損 修理方法を検討し、コーナガードの設置も考慮する。
- 西側道路に面するフェンスの修理を検討する。
- 7月24日 祭壇脇の倉庫のドアの是正工事完了(倉庫から見て内開きを外開きに是正)
- 8月中か9月初旬、2023年度予算書作成のため営繕委員会を開催予定。予算書期限9月11日
* アンダーライン箇所は教会委員会で信徒から意見を求める。

こ よ み

9月

日付	教会暦	行事内容等	日曜学校	聖堂清掃/備考
9/4(日)	年間第23主日		夏季 休暇	河口湖・吉田地区の有志
9/11(日)	年間第24主日			日曜学校・河口湖・都留
9/18(日)	年間第25主日	敬老のお祝い		インターナショナル・山中・忍野
9/25(日)	年間第26主日	式次第練習(ミサ後) 世界難民移住移動者の日 (指定献金)	始業式	吉田地区
10/1(土)	—	(有志)ウクライナ支援 コンサート	募金活動 花束贈呈	—

※御ミサは毎週日曜9:30開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

イタリア語教室(月曜10時): 9月5日、12日、26日

手芸会(第二水曜日): 9月14日

10月以降の予定

宣教司牧委員会@甲府教会(10/23予定)

王であるキリストの祭日、感謝と喜びの集い(11/20予定)

※予定変更については、「教会の連絡網」での連絡及びホームページに掲載いたします

9月のミサ奉仕

日	先唱	侍者	第1朗読	第2朗読	検温	香部屋
4	江守香代子	—	福永 好雄	小松二三子	角幸子	小松二三子
11	大野 隆	—	小山田匡宏	相澤千代子	江守香代子	東海林美佐子
18	山本 一孝	—	宮本 二郎	東海林美佐子	小松二三子	宮本禮子
25	曾根 美香	—	葉山孝夫	グエン ティ カ	宮本禮子	角幸子